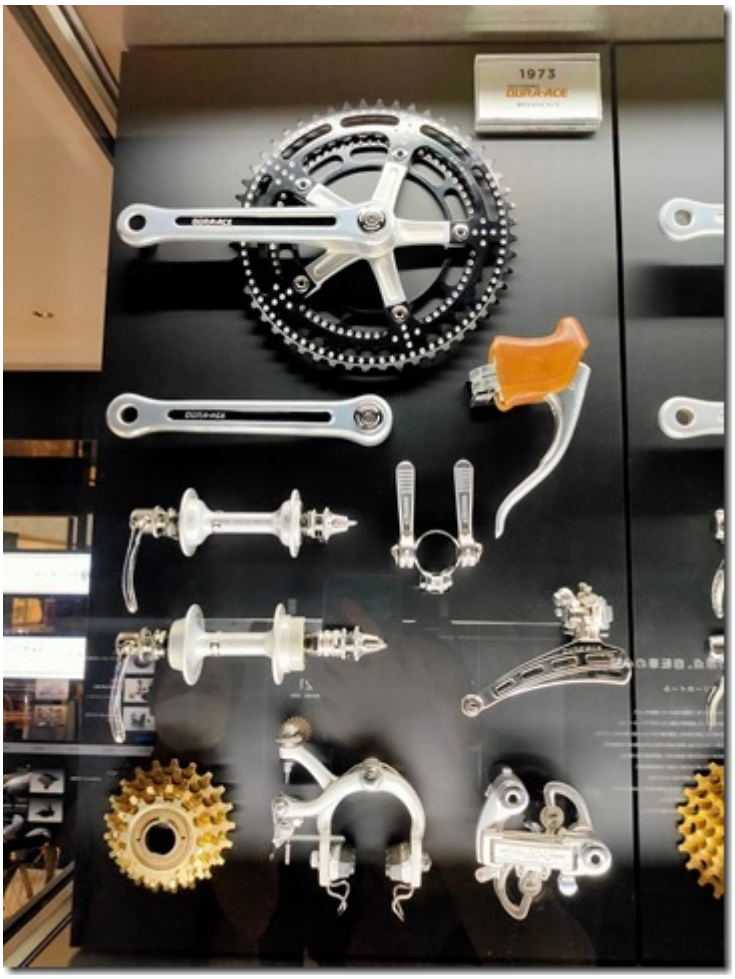

シマノ スクウェアに行ってきた その３

シマノのコンポーネントのフラッグシップモデルである

歴代デュラエースたちをご紹介・。

１９７３年。初代デュラエース。

https://ja.wikipedia.org/wiki/%E3%82%B7%E3%83%9E%E3%83%8E%E3%83%BB%E3%83%87%E3%83%A5%E3%83%A9%E3%82%A8%E3%83%BC%E3%82%B9

ウィキペディアでは、１９７１年にデュラエースと

命名されたクランクが発売されているとある。

「ジュラルミン」と世界で一番という意味で「エース」を

組み合わせた命名だったんですね。

ともかく、シマノの正史では１９７３年にデュラエースの

コンポーネントが発表されている。

スプロケットは５速。

変速は、今のSTIではなくフレームに取り付けるレバー。

私が生まれる前の話だ。



２代目デュラエース。

１９７８年に発売されている。

私が生まれた年だ。

「Dura-Ace EX」（7200シリーズ）とある。

コンポーネントは、初代と劇的には変わってないが、

変速は６速になっている。



ブレーキに工夫がある7300シリーズの３代目のデュラエース。

２代目から２年後の発売と、かなり早めのリリース。



４代目のデュラエース（7400）は先代の６速から８速へ。

４年の歳月により、大幅なバージョンアップ。



４代目から実に１２年後に発売されたデュラエースは、

革新的な技術が導入された。

STIと呼ばれる変速レバーとブレーキレバーを

一体化させた革新的な製品。

これが、ロードレース市場を席捲する

５代目デュラエース（7500）だ。

変速は、９速になっている。



８年後に発売されたのが、６代目デュラエース。

変速は１０速に達している。

デュラエースの歴史は、続く・・・